



平成29年度「オリンピック・パラリンピック・ムーブメント全国展開事業」

事業実施報告書

- I スポーツ及びオリンピック、パラリンピックの意義や歴史に関する学び
- II マナーとおもてなしの心を備えたボランティアの育成
- III スポーツを通じたインクルーシブな社会（共生社会）の構築
- IV 日本の伝統、郷土の文化や世界の文化の理解、多様性を尊重する態度の育成
- V スポーツに対する興味・関心の向上、スポーツを楽しむ心の育成

道府県・政令市名【 石川県 】

1 実践テーマ	【 I 】
2 実施対象者	石川県能登町立宇出津小学校 第6学年 1組 36名
3 展開の形式	(1) 学校における活動 ① 教科名 (国語科) ② 行事名 () ③ その他 () (2) 地域における活動 ① イベント名 () ② その他 ()
4 目標 (ねらい)	オリンピック・パラリンピックの理念及び大会マスコットの役割について理解を深める。それらをもとに、大会マスコットを選ぶ際に、自分と他者の考えを交流する中で、自分の意見を明確にして、学級推薦のマスコットを選ぶことができる。
5 取組内容	  <p>まずは、3つのマスコットを提示して、第一印象で児童に選ばせた。その後、オリンピック・パラリンピックの理念及びマスコットの役割について、プレゼンテーションソフトを使い解説した。さらに、マスコット候補紹介動画を視聴した。</p> <p>グループの話し合いの前に、次の4つの観点をもとに個人の意見を明確にしてから、話し合いに入った。</p> <ul style="list-style-type: none"> ① オリンピック・パラリンピックの理念や価値が反映されているか？ ② 東京や日本らしさを感じるか？ ③ 個性的でデザインが優れているか？ ④ 多くの人に好まれるか？ <p>グループ討議の後に、代表が選定理由を学級全体に向けて発表した。発表を聞いてから、一人一票により学級のマスコット候補の最終意見を決定した。</p>



6 主な成果

話し合いの前に、オリンピック・パラリンピックの理念やマスコットの役割について紹介した。各自がマスコットを選ぶ際の参考にできた。個人⇒グループ⇒個人という順序で、マスコットの選定を行った。グループでの意見交流により、自分と他者の共通点や相違点に気づいたり、新たな見方に気づいたりできた。話し合いにより自分の意見をより明確にして、マスコットの選定を行うことができた。

これまでの話し合い活動では、自分が最初に決めた意見は、グループ活動を行って、他の意見を聞いて交流したとしても、最後まで自分の意見を変えないことがあった。しかし、今回の授業では、活発な話し合い活動により友だちの意見を聞いて自分の意見を変えるという児童もいた。これは、日本でオリンピック・パラリンピックが開催され、そのマスコットを選定することに自分たちも関わることができるという関心を持つことができたからだと思う。また、マスコットに関するデータも詳細に出ていたこともあり、自分の最初に選んだマスコットの選定理由をさらに友だちが納得できるものに変えたり、選定したいマスコットを変更したりするなど、グループによる話し合い活動が有効にはたらいた授業であった。

7実践において工夫した点 (事業の特色)

- ・プレゼンテーションソフトや動画による紹介を行い視聴覚に訴えるようにした。
- ・マスコットを選ぶ活動を通して、オリンピック・パラリンピックへの参加意識や関心を高めるようにした。

8主な課題等

マスコットを選定する際に、「親しみやすさ」は重要な要素のひとつではあるが、「オリンピック・パラリンピックの理念や価値」について、児童に伝えることは難しいと感じた。大会運営に携わって来た方などに、直接お話をうかがうことができればよいと思った。

9来年度以降の実施予定

なし。